

19 番	柴田利勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 本市の今後の公共交通の在り方について 【質問趣旨】 本市は公共交通に取り組み15年が過ぎた。その間公共交通会議を通して市内各地域において、かつてJRバスなどが運行された地域を考慮しながら、コミュニティバスと基幹バスを運行することによりほかの市町に比べ本市の公共交通は遅れてはいないと思う。さらにデマンド交通の試行を重ねながら今日がある。そこで本市の今後の公共交通の在り方について質問する。	(1) 地域における交通空白地解消に向けて (2) コミュニティバスの運行状況について (3) 持続可能な公共交通について	① 公共交通について瀬戸市地域公共交通会議において交通空白地域についても議論されているようであるが、交通空白地域の現状をどのようにとらえているか。 ② 交通空白地の具体的な解消のために、どのように取り組んでいるか。 ① 鉄道からバス、バス同士の乗り継ぎについては、品野線などのように出来るだけ円滑に行うようにダイヤを組んでいると思うが、他の路線の現状について伺う。 ② 今年度は、「品野おでかけバス」「本地おでかけバス」「チョイソコせとあさひ」のデマンド運行の実証実験を行っているがその結果はどのようなものであるか伺う。 ③ 「品野おでかけバス」はタクシーの運行であり、車定員を超えた場合は追加タクシーの運行をしているとのことであるが、実績はどのようなものであるか伺う。 ④ デマンド交通の課題と対策についてどのように考えているか伺う。 ① 令和8年度には、現在の地域公共交通網形成計画の改定を予定しているが、交通網の再編など、改定の方向性はどのように考えているか伺う。 ② 地域公共交通網形成計画では、コミュニティバスの収支率15%を目標としている。しかし、令和5年度の収支率は10.8%となっているが、収支率を上げる為の取り組みについて伺う。 ③ 本市の持続可能な公共交通を目指すには、収支率を上げていくことが必要であると思うが、そのためには、乗車人数の増加や、あるいは運賃改定等も考えに入れる必要もあるのではないかと思うがどうか伺う。 ④ 実証実験を行っているデマンド交通について、交通空白地域や乗車率の低い路線、さらに時間帯を限定するなど工夫し導入することは有効と考えるが、今後の展開についてどのように考えているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。